1 北方領土の概要

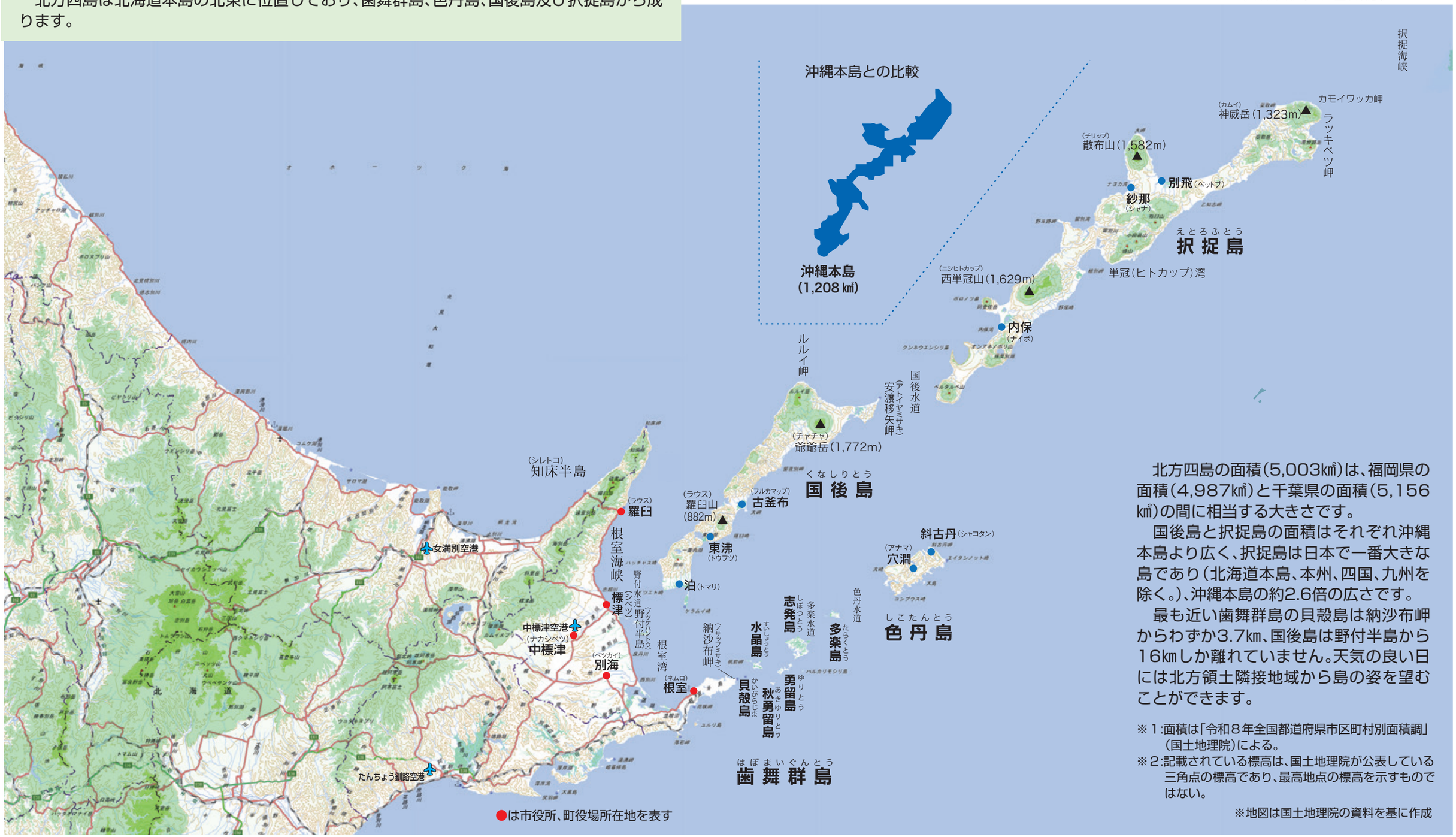
北方四島の位置等

北方四島は我が国にとってかけがえのない固有の領土です。

北方四島は北海道本島の北東に位置しており、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島から成ります。



納沙布岬から望む歯舞群島
（写真提供：根室海上保安部）



北方四島の面積（5,003㎢）は、福岡県の面積（4,987㎢）と千葉県の面積（5,156㎢）の間に相当する大きさです。

国後島と択捉島の面積はそれぞれ沖縄本島より広く、択捉島は日本で一番大きな島であり（北海道本島、本州、四国、九州を除く。）、沖縄本島の約2.6倍の広さです。

最も近い歯舞群島の貝殻島は納沙布岬からわずか3.7㎞、国後島は野付半島から16㎞しか離れていません。天気の良い日には北方領土隣接地域から島の姿を望むことができます。

※１：面積は「令和８年全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。
※２：記載されている標高は、国土地理院が公表している三角点の標高であり、最高地点の標高を示すものではない。

※地図は国土地理院の資料を基に作成

戦前の北方四島と元居住者

戦前の北方四島には、約17,000人の日本人が居住しており、島には役場が置かれ、駅逓、郵便局、警察署、小学校等がありました。



戦前の様子（択捉島・紗那市街地）



戦前の様子（色丹島・色丹小学校）
（写真提供：（公社）千島歯舞諸島居住者連盟）

元居住者等の人数

	昭和20年８月15日現在	令和8年3月31日現在				
	元居住者※1	元居住者※2	2世	3世	4世	計
歯舞群島	5,281	1,556　(47)	5,041	3,769	134	10,500
色丹島	1,038	278　(16)	954	811	11	2,054
国後島	7,364	2,092 (126)	7,055	5,947	170	15,264
択捉島	3,608	1,160 (112)	3,223	2,278	31	6,692
合　計	17,291	5,086 (301)	16,273	12,805	346	34,510

（注）（公社）千島歯舞諸島居住者連盟調べによる。

※1　昭和20年8月15日現在の人口は、同日まで引き続き6月以上北方地域に生活の本拠を有していた居住者の人数であり、この数に含まれない北方四島出身者もいる。

※2　昭和20年8月15日まで引き続き6月以上北方地域に生活の本拠を有していた者に加え、その者の子であって、昭和20年8月15日以前6月未満の期間内に北方地域で出生し、かつ、同日まで引き続き北方地域にいたもの及び同日後北方地域で出生したものを含む。括弧内の人数は、後者の人数で内数。

元居住者の平均年齢（令和８年３月31日現在）　**90.3歳**

（注）（公社）千島歯舞諸島居住者連盟調べによる。
※昭和20年8月15日まで引き続き6月以上北方地域に生活の本拠を有していた元居住者。

現在の北方四島の居住者

現在、北方四島には約18,000人のロシア人が住んでいますが（歯舞群島には一般住民は生活していません）、日本人は1人も居住していません。

島　名	2025年１月１日現在
色丹島	3,901人
国後島	7,672人
択捉島	7,038人
合　計	18,611人

※1　現在、北方四島に日本人は居住していないため、ロシア人の人口。
※2　ロシア側統計による。

北方四島の概況

択捉島（3,167㎢）

国後島と同じく火山島であり、島の北端であるカモイワッカ岬（北緯45度33分）は日本の最北端です。また、鮭や鱒など水産資源に恵まれています。名称の由来はアイヌ語「岬のあるところ」です。



散布山



サケ・マスふ化場



ラッキベツの滝

国後島（1,489㎢）

十数箇所の温泉が存在する火山島であり、北東部には四島の最高峰で世界で最も美しい二重火山の一つと呼ばれる爺爺岳があるほか、ろうそく岩のような景勝地に恵まれています。名称の由来はアイヌ語「草の島」です。



爺爺岳



ろうそく岩



材木岩

色丹島（248㎢）

島全体が高山植物地帯で、緑に覆われた丘陵が連なっており、本州等では見られない自然が広がっています。名称の由来はアイヌ語「大きな集落のある地」です。



穴澗湾



稲茂尻湾



チボイ灯台

歯舞群島（95㎢）

歯舞群島は貝殻島、水晶島、秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島などの島々から成っています。名称の由来はアイヌ語「流氷のある島」です。



貝殻島



水晶島



多楽島